青研かわらばん

発行所　長岡鉄工業青年研究会
発行責任者　五十嵐　敏
編集責任者　髙坂　壮
編集者　小笠原昭範・小林史幸・清水一裕・髙坂澪也・橋本直輝・山口淳
事務局　新潟県長岡市表町３丁目１番８号　リナシエビル３　８階　長岡鉄工業青年研究会　TEL 0258－36－6982
印刷所　㈱北越時報社　長岡市住吉２丁目５番13号

新年度を迎えて

長岡鉄工業青年研究会
二〇二一年度会長
井上　航

二〇二一年度長岡鉄工業青年研究会会長を務めさせていただく事となりました株式会社井上高速機械の井上航でございます。一年間よろしくお願い申し上げます。

本年度は、長岡鉄工業青年研究会が創立五十周年を迎える節目の年でございます。大変光栄なことでありますが、歴史と伝統ある当会の会長を務めさせていただく事に改めて身の引き締まる思いであります。また長年にわたり諸先輩方が築き上げてくださった事により、五十周年を迎えられる事に感謝申し上げます。当会での今までの活動を振り返り、次世代へ繋ぐ事ができるよう全力を尽くしてまいります。

二〇二〇年一月、中国の武漢で流行となっていた新型コロナウイルス感染症でありましたが、横浜港から出港されたクルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号の乗客が新型コロナウイルスに罹患されていたことが発覚しました。その後、横浜港に帰港し検疫・隔離等を講じられましたが国内では感染者が増え続け「新型コロナウイルス感染症」の名が瞬く間に報じられました。感染拡大に伴い日本経済に大きく関わるオリンピックの延期、長岡まつりの縮小、当会の活動自粛、生活様式も変わり二〇二〇年度の大半は新型コロナウイルス感染症に悩まされる年でした。

国内では防疫措置を講じＧｏＴｏキャンペーンなど政策面での後押しもあり経済活動が再開し、雇用・所得環境も最悪期は脱したように見えましたが、昨今の第三波の感染拡大により、先行きの不透明感は強いとされています。

例年当たり前に行っている事を、これほどまでに難しいと思ったことはありません。そのため、二〇二一年度は活動テーマを「継続推進」とし、当会を存続させるためにはどのように行動していくべきかを考え取り組んでまいります。

一、五十周年記念事業

五十周年は、関係諸機関の方々と諸先輩方をお招きし、十一月十二日に記念講演会と記念式典を計画しております。五十周年を迎える節目の年に諸先輩方と現役会員が交流できる機会となっておりますので、多くの皆様にご列席いただき、盛大に祝い当会の歴史を振り返り、親睦を深めたいと考えております。

また、七月十日には五十周年記念ゴルフコンペを計画しております。多くの諸先輩方に御参加いただき、緑豊かな環境にて昔話に花を咲かせ、親睦を深めたいと考えております。

二、地域貢献事業・ものづくり事業

本年度も地域貢献事業として、八月一日に行われる「長岡まつり平和祭慰霊神輿渡御」に参加いたします。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、神輿渡御が中止となってしまいましたが、開催される場合は感染拡大防止を徹底したうえで、伝統あるオリジナル神輿と纏と共に当会のＰＲをしてまいります。

九月二日には集った浄財を物品に換えて、福祉・児童養護施設に寄付する要となります第四十回目「屑鉄集め」を行います。毎年、諸先輩方の企業や会員企業ご協力のもとに行われており、本年度も継続して実施いたします。当事業の際にはご理解・ご協力の程、お願い申し上げます。

本年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、外部との渉外・交流事業が難しい事が予想されるため、十一月に行われる記念式典に向けて、五十周年記念品のものづくり事業を計画しております。

三、人材育成・会員増加への取組

年々当会の会員数は減少傾向にあり、二〇二一年度は二十五名が在籍しております。人数が少ない現状でありますが、五十周年事業等を行う事によって飛躍的な成長ができると考えております。次年度以降に向けて役員等を経験しやすい環境づくりとして、引き継ぎ資料の管理も重要視してまいります。

会員増加への取組では、現在の会員数が四十五周年に比べ、半数の二十五名しかいないと言うことを周知します。企業訪問や諸先輩方とお話しする機会がある際には、明確な減少傾向である事を伝え、入会する事により人との繋がり・成長ができる事をＰＲしてまいります。

以上の事業や取組を柱として当会の運営をしてまいります。五十周年ならではの事業が有りますので会員の皆様には積極的に事業に参加していただき、個々の成長に繋げていただきたいと考えております。一年間、何卒よろしくお願い申し上げます。

一年を振り返って

長岡鉄工業青年研究会
二〇二〇年度会長　五十嵐　敏

二〇二〇年度会長を務めさせていただいた五十嵐工業株式会社の五十嵐敏でございます。一年を振り返るにあたり、やはり新型コロナウイルス感染症の話は避けて通れないかと思います。まるで映画の世界さながらに、一つの感染症がここまで世界を変えることになるとは全く想像できませんでした。本来であれば二〇二〇年は東京オリンピックが華やかに開催され、活気にあふれた一年になるはずでした。しかし新型コロナウイルス感染症拡大という未曽有の事態に陥り、社会へ及ぼした影響は大きく、私たちの活動する地域においても、製造業をはじめとする多くの企業が打撃を受け、家庭における不安は計り知れないものとなりました。

振り返ってみますと、一月・二月は感染症が話題になり始めたものの、異国の出来事とのんびり構え、差し迫った危機感もなく、日常生活に大きな影響はありませんでした。しかし三月に入ると急速にコロナ禍の影響が及びはじめ、当会としても年度初めの四月から三ヵ月の活動自粛を余儀なくされ、感染拡大防止に努めてまいりました。その後減少の傾向が見えてきた六月で自粛期間を終え、七月より可能な範囲で活動をしてまいりました。以降、第二・第三波の影響により、自粛要請やイベントの中止が相次ぐ中でも立ち止まることなく、状況を見極め、会員と話し合い、様々な事業を実行へと移せたことは大変大きな収穫となりました。会員の皆様におかれましても、自社の生き残りをかけて考え、そして学び、行動に移したことで、一人一人に進化をもたらした一年になったのではないでしょうか。

二〇二一年度は創立五十周年という半世紀を迎える記念すべき年となります。井上新会長のもと、新しい一歩を踏み出すためにこの一年を振り返り、そして乗り越えてきたことを誇りに、会員一丸となって何事にも果敢にチャレンジしてまいります。

最後になりますが、関係行政機関の皆様、ＯＢ会員の皆様、並びに会員の皆様におかれましては、多大なるご支援・ご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

一年間ありがとうございました。

委員会事業報告

総務委員会

委員長　髙坂　壮

昨年度に引き続き、総務委員長二期目となる本年度は、周囲に支えられながら終えた昨年の不甲斐なさや悔しさを胸に、何よりも委員長としての自分自身の「進化」を目標に、自分なりに定型事業の運営の効率化に取組みたいという思いでスタートしました。ところが新型コロナウイルス感染拡大の影響により、年度初めから卒業式の中止や会の活動自粛というスタートを切る事となりました。刻一刻と状況が変わる先の読めないイレギュラーな状況下で、限られた時間で準備や調整を終えねばならず、正確に優先順位をつけ、且つスピード感を持った対応が求められる為、「現時点でどのような準備ができるのか」「限られた時間の中で何をどこまでできるのか」という判断力や対応力を試された一年でありました。

活動内容は結果としては限定的でありましたが、五十嵐会長を中心とした役員の一体感は昨年以上で、毎月の役員会ではこのような状況になったからこそ、各事業の意義や重要性を改めて問い直すような議論が多かったように感じました。異例づくしの一年で効率化については全く成果を上げる事ができませんでした。定期総会の書面決議や臨時総会の会場変更等、不慣れな運営で設営に携わる委員をはじめ、参加いただいた会員の皆様にはご迷惑をおかけした事と思います。

四月以降もまだまだ先の見えない状況ではありますが、次年度へ向けて本年度の経験をふまえて、微力ながらも役立つ情報を残せるよう、引き続き考えてまいります。

一年間支えていただきました役員をはじめ、総務委員の皆様、会員の皆様、誠にありがとうございました。

◆卒業式

本年度は七名の卒業生の方々が当会での学びを納め、ご卒業されました。誠に残念ながらコロナ禍の為に、例年通りの卒業式は行えませんでしたが、山本直前会長と五十嵐会長の計らいにより、証書授与の模様を動画に編集し、卒業記念のＤＶＤとしてお渡しいたしました。尚、定期総会については初となる書面決議にて実施いたしました。

御卒業会員　七名

小沼　啓　様
難波　徹　様
韮澤　誠吾　様
福田　敏行　様
古川　琢也　様
吉原　範宴　様
渡辺　潤一郎　様

（髙坂　壮）

◆臨時総会

年末年始の新潟県内及び長岡市内における新型コロナウイルス感染拡大を受け、例年同日に行っていました新年会が中止となり、例年とは会場を変えハイブ長岡にて臨時総会のみでの開催となりました。この様な状況の中、沢山の会員の皆様にご参加いただき誠にありがとうございま

した。

また、不慣れな会場にて異例の設営となってしまい、当日は様々なご不便をお掛けしましたが、会員の皆様のご協力により無事に審議を執り行えました事に心より感謝申し上げます。

出席　二十七名
委任状による出席　三名
（合計三十名）

（髙坂　壮）

◆定期総会

二〇二一年四月九日㈮にハイブ長岡にて、定期総会を実施予定です。

涉外・研修委員会

委員長　長谷川　雅利

二〇二〇年度の涉外・研修委員会は、私自身初めて委員長を務め、やる気と不安を抱きつつ、五十嵐会長が掲げた「進化」をテーマに会員各々と、事業を通して関わる方々が新たな情報や技術に触れ、成長できるような事業を行うことを目標にスタートしました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例年のような研修旅行や涉外事業を行うことができず、当委員会としての活動予定は白紙となりました。コロナ禍の厳しい状況下で当会及び当委員会でできることとして、活動地域である長岡市と当会の礎である長岡の鉄工業界を盛り上げることを目的に、ご縁があった中越クリーンサービス株式会社様に依頼をして、長岡鉄工業青年研究会オリジナルラベルの佐渡海洋深層水ペットボトルを製作しました。依頼先の担当者様との打ち合わせは感染防止のため、メールや電話のみで行い、デザイン校正が決定するまでに時間を要しましたが、素敵なラベルデザインが出来上がりました。完成した佐渡海洋深層水ペットボトルは、今後の事業やその他の活動において配布されます。

出口の見えない厳しい状況ですが、この度の活動により、長岡市と長岡鉄工業界、そして当会と会員にとって少しでも活力になれば幸いに存じます。

一年を通して、例年の事業を行えずに残念な思いはありますが、この苦境の中、委員会で話し合い、新たなことにトライ

できたことは、テーマである「進化」のように、私や携わった会員にとって成長できたいい経験であったと思います。

サポートいただきました三役、役員、会員の皆様、そして渉外・研修委員の皆様に心より感謝申し上げます。

◆佐渡海洋深層水オリジナルラベルPET製作

新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい市況が続く中、当会の活動地域である長岡市を盛り上げることを目的として、当会でデザインしたオリジナルラベルのペットボトル飲料水を製作しました。長岡市の象徴となる図柄、復興メッセージ、青研魂をラベルにした素晴らしい佐渡海洋深層水オリジナルラベルのペットボトルが完成しました。完成した品物は今後の事業やその他の活動において、関係企業や施設、携わる方々に配布していきます。

最後になりますが、ご協力いただきました中越クリーンサービス株式会社様、並びに当会会員の皆様に感謝申し上げます。

（田中　祐樹）

実行委員会

委員長　門倉　侑大

本年度は初の委員長として実行委員長を務めさせていただき、不安はありましたが私自身が大きく進化できるチャンスと考え、事業に取り組んでまいりました。

しかしながら、年度が替わり本格的に事業の準備を始めようとした矢先、新型コロナウイルス感染症拡大により残念ではございましたが、卒業生追い出しゴルフコンペを中止する運びとなりました。その後の事業に関しましては、時期を変更するなどして実施いたしました。

秋季ゴルフコンペでは、多くのＯＢ会員様にご参加をいただき、本年度は表彰式のみとなりましたが、ゴルフを通じて親睦を深めることができました。また、ＯＢ会員様と交流できる数少ない事業の一つですので、今後も継続していくことが大切だと再認識しました。

屑鉄集めでは、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中ではございましたが、多くの企業様から貴重な浄財をいただき、改めて多くの皆様に支えられ、活動が出来ている事を感じる日となりました。また、当日までバタバタしてしまう一面もありましたが、皆様のご協力をいただきまして無事に事業を完遂することができました。

十二月には、福祉・児童養護施設へ屑鉄集めによって得ることが出来た浄財を物品に換えて贈呈してまいりました。子供達と施設利用者の笑顔に触れ、当会の伝統事業として継続していきたい気持ちが高まりました。

新型コロナウイルス感染症に悩まされる中、実行委員長として一年間やり遂げられたのも、会長をはじめ、皆様のご理解・ご協力のお陰と思っております。最後に、実行委員会の事業にご参加いただいた会員の皆様、誠にありがとうございました。

◆秋季ゴルフコンペ

令和二年十月十七日㈯に、長岡カントリー倶楽部にて秋季ゴルフコンペを開催いたしました。

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中ではありましたが、ＯＢ会員様十名、現役会員十七名もの多数の御参加をいただきました。当日は肌寒い一日ではありましたが、ゴルフを通じてＯＢ会員様と親睦を図れたのではないかと思います。ＯＢ会員様と懇親会が行えなかったことは大変残念ではございましたが、皆様から多くの御協力をいただき事業を遂行することができました事、改めて感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

参加者　ゴルフ　二十五名
表彰式　二十七名
優勝者　真保　匠人　君

（池田　一雄・石田　和人）

◆屑鉄集め

令和二年十月八日㈭に、会員参加者二十三名、屑鉄提供企業三十一社にて屑鉄集めを実施いたしました。

本年度は新型コロナウイルス感染症の影響ため、例年より一ヶ月時期を遅らせましたが、多くの御協力のもと事業を行うことができました。トラックの確保について、来年度以降はさらに厳しくなると予想されます。今年度は㈱横山銅鉄店様に事前回収をお願いしましたが、トラックの台数状況により今後もそのような対応が必要になってくると思われます。

最後に事故や怪我等も無く、無事に作業を完了できましたこと、屑鉄集めに対する御理解と御協力を賜った提供企業様、

そして回収作業に参加いただいた会員の皆様のお陰と心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

（讃岐　恭一・南　聡史）

◆福祉・児童養護施設寄付贈呈式

令和二年十二月十日㈭に、福祉・児童養護施設に寄付贈呈式を行いました。

本年度は、コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、各施設で子供達や施設利用者と触れ合う人数や時間が制限されましたが、皆様から温かく迎えていただき大変喜ばしく思いました。柿が丘学園様では、子供達と一緒に贈呈品を開封し沢山の笑顔を見ることができ、お礼として色紙を頂きました。もみの木工房つばさ様には、作業用椅子やクッションフロアを贈呈しました。所長と施設利用者の代表の方からお礼の言葉を頂き、日頃の作業風景を見学させていただきました。双葉寮様では、学習机や絵本を贈呈しました。寮長と園児からお礼の言葉を頂き、子供達の生活状況を説明していただきました。

子供達や施設利用者の笑顔を見ることができ、屑鉄集めが大変意義のある事業であることを改めて感じました。ご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。

（門倉　侑大）

まつり委員会

委員長　真保　匠人

本年度は、長岡まつり平和祭慰霊神輿渡御に二十七回目の参加を予定しておりましたが、全世界で猛威を振るっており、新型コロナウィルス感染拡大により中止となりました。

神輿渡御が中止となってしまったため、毎年協賛金を頂いているＯＢ企業へ神輿渡御中止案内・かわらばん・入会のしおりを配布し、中止の周知と共に新規会員獲得のためＰＲを行いました。

また長岡まつり神輿協議会のお声掛けにより、会の活動・神輿に対する思いをまとめた動画を各神輿団体と共同で作成し、戦後初の平和祭自粛を歴史に残すような、コロナ禍を振り返られる動画をＳＮＳ等で配信しました。

まつり委員会のメイン事業である神輿渡御を行うことが出来ませんでしたが、ご協力いただきました会員の皆様、一年間ありがとうございました。

〈活動報告〉

六月　長岡神輿協議会第一回幹事会へ参加

七月　長岡まつり平和祭神輿渡御中止案内の配布

長岡神輿協議会主動の各神輿団体合同のＰＲ動画作成

十二月　長岡神輿協議会定期総会中止に伴い書面にて議決

五十周年準備委員会

委員長　長谷川　孝

本年度の五十周年準備委員会は、年間を通して、五十周年記念式典の内容の大まかな方向性や案を出し、資料収集等を行い、来年度の五十周年記念式典担当者がスムーズに事業を進められるよう計画してまいりました。

しかし、新型コロナウイルスの影響で四月十六日より全国へ緊急事態宣言が発令され、当会も六月いっぱいまで活動自粛となり、感染防止に努めてまいりました。

再開後も幾度となく新型コロナウイルスの影響により活動が制限されてきましたが、案内状の草案作成、及び各所見積り依頼を行い、十二月に関係役員で会議をし、四十五周年での問題点の改善案や、三密対策を考慮した会場レイアウト、余興内容や記念品の方向性を絞り、ホテルニューオータニ長岡の担当者様と打ち合わせを行ってまいりました。

出来る事が限られた一年ではありましたが、五十周年事業に関わる事ができ、大変光栄でありました。新型コロナウイルスの状況は次年度もわかりませんが、無事五十周年が迎えられるよう、尽力してまいります。

最後になりますが、打ち合せや相談に対応していただいたホテルニューオータニ長岡様、役員の皆様に心より感謝申し上げます。

2021年度　長岡鉄工業青年研究会組織図

直前会長　五十嵐　敏

会　長　井上　航

副会長　阿部修平
南　聡史

総務委員会　６名（担当副会長　南　聡史）
- 委員長　清水一裕
- 副委員長　大塚淳史
- 委員　猪俣洋志・門倉侑大・田中祐樹・橋本直輝

渉外・研修委員会　６名（担当副会長　阿部修平）
- 委員長　長谷川孝
- 副委員長　髙坂壮
- 委員　大石克輝・小笠原昭範・小林厚揮・中津山隆博

実行委員会　６名（担当副会長　南　聡史）
- 委員長　長谷川雅利
- 副委員長　高坂諒
- 委員　浅井学・石田和人・讃岐恭一・高坂澪也

まつり委員会　25名（担当副会長　阿部修平）
- 委員長　真保匠人
- 副委員長　山本友紀
- 委員　全会員

会　計　鈴木敬子

会計監査　讃岐恭一

祝　ご卒業

池田一雄　株式会社 池田機工
小林史幸　株式会社 小林製作所
清水貴裕　有限会社 清水プレス工業所
永井邦幸　株式会社 プレテック・エヌ
松田勇介　有限会社 松田鋳造
山口淳　株式会社 ヤマグチ機械
山﨑宣明　長岡スプリング 株式会社
（以上七名）

新入会員の紹介

二〇二〇年度　四月以降入会

高坂澪也
有限会社 高坂鉄工所
〒九四〇－〇〇二一
新潟県長岡市城岡三－九－五六
TEL〇二五八－二四－〇六〇四
FAX〇二五八－九四－四〇六八
平成九年九月二十四日生

橋本直輝
飛鳥運輸 株式会社
〒九五四－〇一二四
新潟県長岡市中之島字根岸八四六番地一
TEL〇二五八－六六－〇四一三
FAX〇二五八－六六－〇五四五
昭和六十二年七月七日生

二〇二一年度　四月以降入会

浅井学
西川工具 株式会社
〒九四〇－〇〇二九
新潟県長岡市東蔵王二－六－一
TEL〇二五八－二四－五七一一
FAX〇二五八－二四－二七四二
平成二年七月二十六日生

大石克輝
拾壱・ビッグストーン 株式会社
〒九四〇－〇八五一
新潟県長岡市若草町三－六－六
パールワインズ一〇二
TEL〇八〇－四四七四－九六三〇
平成十年十一月二十八日生